

第3回赤間関街道中道筋マラニック大会 中止のお知らせ

コロナ禍において、感染予防対策を講じながら「with コロナ」にチャレンジしようと準備を進めてまいりました標記大会です。しかし、直近の山口県の感染状況が思わしくなく、スタート・フィニッシュ地点である下関市の状況や山口県知事のメッセージを受け、参加者・運営スタッフ・コース上の関係者等の安全を最優先に考えて、大変残念ですが大会を中止することに決定しました。

参加者の皆様には大会直前での決定ということで、交通機関や宿舎のキャンセル等多大なご迷惑をおかけすることになり心よりお詫び申し上げます。

でも、私（岡崎）は皆さん以上に残念に思っています。多くの仲間とここまで準備して、あとは大会を待つばかり…といった状態でしたから。でも今後の為にも今回は我慢します！

決め手となりましたニュース等の内容を紹介します

NHK NEWS WEB (4月27日)18:25 配信

下関 前田市長「まん延防止等重点措置」要請求める方向で検討

下関市が開いた27日の対策本部会議では、市内の感染状況について、25日までの1週間の新規感染者数が、前の週の7、29倍に増加していることが報告されました。

また、政府の分科会の指標でみると、25日時点で病床の使用率が33%と2番目に深刻な「ステージ3」の目安に達していて、その後の感染状況も踏まえると、最も深刻な「ステージ4」に近づいているとしています。

前田市長は、会議の後の記者会見で、「ステージ4に届くのは時間の問題で、これまでにない厳しい状況だ」と述べ、強い危機感を示しました。

そのうえで、感染状況をさらに見極め、増加傾向に歯止めがかからないと判断した場合、集中的な対策が可能になる「まん延防止等重点措置」の下関市への適用を国に要請するよう、村岡知事に求める方向で検討に入ったことを明らかにしました。

また、「海響館」の夜間の開館や1月の成人式に代わる「二十歳を祝う会」など、大型連休の期間中に予定している行事も中止することになっています。

前田市長は「緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象になっている地域への不要不急の往来は我慢してほしい。また、日ごろ会わない人と久しぶりに会って食事することも、絶対に避けてほしい」などと、市民に強く呼びかけました。

4月27日は下関市で21人の感染が確認され、1日の感染者数最多となった

YAHOO!ニュース (4月28日) 19:42 配信

新型コロナ・26人の確認・知事「県外往来自粛」を（山口県）

新型コロナウイルス、今日は26人の感染者が確認されました。変異ウイルスの急増や、若者への拡大、あすからのゴールデンウィークを前に、村岡知事は県外との往来自粛を求めました。

(途中省略)

あすからの大型連休を前にした、県内での感染拡大。村岡知事は期間中、県外との往来を控えるよう呼びかけました。村岡副知事・知事「コロナを抑えるゴールデンウィークにしていかなければいけない。特に県外との往来は控えて身近な人と静かに過ごす、そうしたゴールデンウィークにしていきたい」「大型連休が、感染拡大するかどうかの分かれ道になる」と危機感を強調。外出について、一段の対策強化を呼びかけました。

県はこれまで、緊急事態宣言区域と、まん延防止等重点措置区域への移動を控えるよう求めていましたが、大型連休中は、県外との往来を控えるよう求めました。

山口県のホームページより

コロナを抑えるゴールデンウィークに

GW期間(4/29~5/9)は、県外との往来は控え、身近な人と静かなGWに！

◎人との接触を減らし、感染を抑える重大な局面

◎感染が急拡大し、本県への影響が大きい福岡県との往来は控えて！

赤間関街道中道筋マラニック大会実行委員会

委員長：岡崎 芳彦

〒753-0816 山口市吉敷佐畑3-13-35

TEL 090-3171-6517

メールアドレス okazaki.yoshihiko@amber.plala.or.jp